



《発行所》

青山同窓会

〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町2-635  
新潟県立新潟高等学校内  
TEL 025-266-5268  
FAX 025-266-5268

《編集・発行人》

長谷川 義明

《印刷所》

オリオン印刷株式会社  
〒950-0963 新潟市中央区南出来島1-19-1  
TEL 025-283-2151  
FAX 025-283-3804

# ご挨拶

青山同窓会会長

長谷川 義明 (61回)



新潟市は四月一日を以って政令指定都市としてスタート致しました。全国で十七の政令指定都市の一つとして、日本を代表する都市の中に加えられたということも出来るでしょう。政令指定都市の誕生を記念する多くの祝祭行事が行われておりますが、新地域の地域からも多くの参加者があるようで、いずれもよくにぎわっております。篠田市長(75回)をはじめ政令指定都市実現にご努力いただいた

関係者の皆様のご苦労に敬意を表する次第です。

幸い新潟市は国際空港、国際港湾、外国領事館などを有し、国際化の時代に大変有利な条件を備えております。新潟の持つ立地条件の良さがこのような歴史的蓄積を生み出す基になっていると思えます。

最近の日本海の対岸諸国は急速に経済発展を続けております。港湾貨物の取扱量も中国、ロシアの貨物の増大などにより、太平洋側港湾よりも伸びが大きく、先行的に整備してきた港湾施設の能力が不足するほどとなっております。新潟のチュウリップの球根や地ビールがロシアに輸出されるなど中古車輸出から生鮮物も輸出対象になってきております。ロシアは通貨

危機から立ち直り、原油価格の高騰により世界最大の石油輸出国としての有利さとあいまって物価安定、高度成長を続けています。中国も安価な労働力

背景に各国からの工場移転などにより高度成長を続けております。北京オリンピック、上海萬博など国を挙げての成長政策も背景にあります。このような

背景にありましよう。このような経済の動向を踏まえて中国東北部の貨物などを対象にロシア—韓国—新潟とを結ぶ航路も開設されることになりました。

来年の主要国首脳会議の労相会議の新潟開催も決まりました。

新潟市の国際的交流が拡大するにつけて同窓生が国際的に活躍する場面も多くなることでしょう。いろいろな分野で活躍する同窓生の活躍ぶりを見聞するのは実に頼もしいことです。新潟県では二十年度の高校生入学試験から通学区の制限が無くなり、全県から新潟高校の受験が可能になるとのことです。

優秀な後輩たちが同窓会に加わってくれることでしょう。ときあたかも火坂雅志氏(83回)の「天地人」が再来年のNHK大河ドラマに採用されることが決定されたとの朗報もはりました。まさに「青陵健児天晴れ」というところです。同窓各位のご清栄を祈念申し上げます。

## ◆ 青山学術文化講演会 ◆

主 催：青山同窓会

今年も新潟高校卒業生で、各界でご活躍の方々から講演をして頂きます。なかなか聞けない話ばかりと思います。ぜひこの機会に母校見学を兼ねましてお越し下さい。皆様のお越しを心からお待ち申し上げます。

- 開催日 平成 19 年 11 月 10 日 (土) 午後 1 時 30 分～4 時 00 分
- 会場 県立新潟高等学校 視聴覚教室 (案内板が出ています)
- 定員 400 人 (一般市民の方々も聞いて頂きます)
- 参加費 無料
- 講演予定者 上原誠己さん (77 回卒)

芸名 五世 鶴澤浅造 (つるさわあさぞう)

上原酒造(株) 取締役・社長室長  
演 題 「義太夫について」

かつては最も人気のある音楽であった義太夫節について、三味線による弾語りの演奏と体験談を交えながら解説します。

渡邊健一さん (82 回卒)  
新潟県醸造試験場 場長  
演 題 「新潟の酒造り」

新潟は清酒の生産額は日本第 3 位ですが、吟醸酒など高級酒に限ると日本一です。新潟が銘醸地の地位を確立した背景を酒造りの技術的話題を交えながら紹介したいと思います。

- 申込み先 青山同窓会事務局  
電話・FAX 025-266-5268  
E-mail niigata\_aoyama@yahoo.co.jp

## 「講師を囲んで大試飲会」のお知らせ

- 日 時 平成 19 年 11 月 10 日 (土) 午後 5 時～6 時 45 分
- ところ 萬代橋西詰船着場 (新潟グランドホテル) から出航するウォーターシャトル船上バス 新潟高校前から新潟駅行きで礎町下車徒歩 2 分
- 会 費 5,000 円 (お酒に合うお料理付)
- 定 員 先着 50 名様まで (対象は学術文化講演会出席同窓生)

お申し込み・問い合わせ  
青山同窓会事務局

# ごあいさつ

PTA 会長 松元博文 (80 回)

今年度一年間、大野茂副会長 (85 回) とともに P T A の代表を務めさせて頂くことになりました。まずもつて学校や P T A に対する、青山同窓会の皆様の不断のあたたかいご支援や指導に感謝申し上げます。

さて、過日 (六月九日) 雨に祟られ中断と一部の競技中止があつたものの、多数の保護者や地域の方々のご来場を得、第四十八回「青陵祭」が無事挙行されました。

十連合・二十八クラスの生徒諸君の熱気溢れる応援合戦・演舞・競技は、時代を経て変わらぬ若人の団結力と創造力とエネルギーを感じさせ、素晴らしい伝統行事として受け継がれていると感じました。昨年と今年は一・二年生の学級減で変則の連合 (二つの連合が二クラス編成) でしたが、来年は各連合三クラスのイーブンな九連合編成となり、また白熱した戦いが楽しみです。

毎年この青陵祭が終わると、「生徒諸君もひとまわり大きく見え、クラスのまとまりがついて、落ち着いてきました。」と

恒例の青山同窓会新年会が、二月十六日 (金) ホテルオークラで開催されました。

当初の申込者だけで百四十二名、更に当日多数の方がおいでになり、大盛況となりました。

今回 90 回卒以降の若い方がたくさん参加されました。特に司会を買って出たくれた 91 回卒の早川祐子さんには、「大変お疲れ様でした」と申し上げたいと

までが「他責」的に学校教育を批判する時代ですが、この「青陵祭」という行事を見るかぎり、同窓会の諸先輩から受け継いだ本校の生徒や先生方の「自主・自律」の精神はいまだ健在であると実感します。

保護者 (P) として、生徒たちと先生方の様々なエネルギーシユな活動に「ありがとう」と感謝し、大きな拍手を贈れるような P T A 活動を行っていきたいと思います。きつと先生方 (T) も、「おまかせください」と主体的な創意工夫をもって、伝統ある本校の教育現場を引き受けてくださると確信しております。どうぞ本年も宜しくお願ひ申し上げます。

社会の変化の中で、メディアや政治が学校教育に対する不信感を強くし、ともすると保護者

ワード「飛躍」を正に示しているとご紹介されました。篠田市長は、小林校長の挨拶を受ける形で、新潟市も「飛躍」する年にしたいと、四月の政令市移行について抱負を語られました。

そして前国土交通省事務次官の佐藤信秋さん (74 回) が今夏の参院選全国区に立候補される予定として挨拶されました。

その後、上村前会長 (50 回) の音頭の下、本多孝さん (94 回) から贈られたワインで乾杯をしました。彼は新潟に U ターンし、「フルミエ」(新潟市越前浜四五〇一) というワイナリーを経営しております。ぜひ一度皆さんも、美味しいワインを味わいに顔を出してみてください。

## 平成十九年 青山同窓会新年会報告

石原 基規 (88 回)

まず長谷川同窓会会長が挨拶で、昨年の青山学術文化講演会についてお話しされました。次に、小林崔新潟高校校長は、一月のセンター試験の結果が上々であったこと、フェンシング部の遠藤選手が世界ジュニア選手権に日本代表として選出されたことなど、今の本校の勢いは今年の新潟高校のキー

戸口に現れる、懐かしい顔と港」だと語られました。そこから話は多方面にわたって展開し、政令指定都市の中で食糧自給率第一位という新潟の特質を上げられました。さらに新潟港におけるコンテナ取扱量も第一位であることを指摘されて、今後の新潟が発展するポイントとしてアジア諸国へ目を向ける必要等を指摘されました。そのお話はまことに気宇壮大、新潟から日本、そしてアジア諸国へと視点が広がっていき、そのスケールの大きさと、お話しした端々に見られるユーモアとで、会場は驚きと笑いに包まれました。そして、115 回生に対しては「人は必ず失敗をするが、その失敗を苦にすることなく前を向いて進んで行け」とエールを送ってくださいました。また、新潟に対しては「日本人全体が大きく変わっていく中、新潟人の特長を前面に出して、ますます活躍せよ」と励ましてくださり、会場からは大きな拍手が湧き起こりました。



## 東京青山同窓会 二〇〇七年度 新人歓迎会・講演会

現職員 峰本 義明 (88 回)

第一部の講演会では国際政治学者として活躍しておられる中央大学教授の猪口孝氏 (70 回) が、「越・ルネッサンス」と題して講演をされました。高校時代の恩師の話から始まって、ご自身の勉学の日々を振り返り、新潟の今後にとつての鍵は「米

講演の後、新人一人一人の名前が呼ばれ、晴れやかな顔で新

前が呼ばれ、晴れやかな顔で新



人たちがその場で礼をしました。そして、代表して敦井みどりさんが返礼の辞を述べました。彼女の指名は本人が当日会場に来てからだったのですが、そのようなことを微塵も感じさせない、立派な挨拶をしてくれました。

第二部は懇親会。最初は緊張気味だった新人たちも、会が進むにつれて次第にうち解けてきて、隣に座っている大先輩の方々から声をかけていただき、和やかなうちにも有益なアドバイスや励ましを受けていました。また、久しぶりに会った同期の仲間たちとの語らいも彼らの心を励ましたことでしょう。諸先輩の方々から世代の隔りもなく声をかけていただき、直接お話を伺える機会はめったにあるものではありません。今年のこの会の盛況ぶりを目にして、新人たちがさらに大きく活躍してくれるとともに、同窓会の活動にも大いに参加してもらいたいとの思いを強くいたしました。



会の終わりは校歌斉唱、応援歌合唱です。新制校歌は新人の長谷川翼君が音頭を取りました。彼の大きな発声の後に続き、「百里流れて信濃川」と声を揃えて歌いました。そして「丈夫」。新人全員がステージに上がり、彼らを代表して中村英人君が音頭を取って、会場全員で「丈夫」を大きな声で歌いました。



会も終わったと思いきや、会場から「エール！」の声が掛かりました。そこで中村君は先の長谷川君を右に、さらに新人の高野誠大君を左に促え、「フレ、フレ、新高」「……、青陵」「……、青山」とエールを発声しました。会場全体も彼らの声に合わせて、大きな声でエールを交換し、会は大盛況のうちに終わりました。

新人の中で、大学での学びの難しさを語ってくれた者もいました。「大学での学びは高校までとは違い、自分で学ぶ対象も内容も見つけていくのだよ」とアドバイスを送り、彼ら自身の学問が大成することを、その背中を見ながら願いました。

海岸沿いに国道402号線を通って越前浜地区に到着、松林を抜けると、ここが新潟市内なのかと思えるような、ぶどう畑と四季折々の花に囲まれた南仏風の建物が目に入ってきました。その建物が今日の訪問予定のファミリアワイナリー「Fermier (フェルミエ)」です。雑誌等で紹介されていますが、何と、我が校のOB、と言っても三十代後半の若さでワイナリーを立ち上げたとお聞き、さっそくお伺いさせていただきました。



同窓生訪問

本田 孝さん (94回) を訪ねて

(会報編集委員) 坂井 奈津子 (96回)

まず、ぶどう畑、ワインの醸造スペース・樽貯蔵庫、ピッツアを焼く石窯が目を引くオーブンキッチンのピッツェリアを見学した後、いろいろお話しをお聞きしました。

本多さんご自身によると、高校時代は野球部に所属し、甲子園を目指して野球に明け暮れていた、ということですが、文武両道のたしなみをお持ちの方で、筑波大学に進学され、卒業後は当時の日本興業銀行(現みずほフィナンシャルグループ)に勤務し、ずっと東京で企業のM&Aのアドバイザリー業務を担当されていたそうです。

さすが体育会系、学生時代から「お酒を飲むのが大好き、特にワインが大好き」とおっしゃる本多さんですが、ワイン造りを目指すきっかけは、二〇〇三年に、ワイナリーを経営する後継者を育成することが目的の「ワイナリー経営塾」を受講したことです。その二年後に前職を退職され、昨年九月、遂に念願のワイナリーをオープンされました。お仕事を辞められて新潟へ戻ってくる、相当大きな決断が必要だったと思われれます。当時のお仕事にも十分やりがいを感じていたけれども、それ以上にワインに対する気持ちが強かったということです。

そんな本多さんが情熱を注ぐワイン造りは、全て手造りにこだわっています。日本で売られている国産ワインの多くが、本当に国産?と首を傾げたくなる中、ぶどうの栽培から醸造まで全部を手がけています。同じ品種のワインでも製造工程の違う商品を揃え、大量生産ワインとは一味違います。ワインを作る工程や生産者の顔が見えるから、お客さんも安心して購入できるのではないのでしょうか。お勧めのピッツアは生地から自家製と、ここにもこだわりがみえます。レストランの目の前に広がるぶどう畑は、四反(二〇〇坪)もあるのですが、ぶどうの栽培から醸造、販売まですべてご夫婦で手がけておられるとのこと。お店の周りも美しく手入れされていて、高校・大学時代を通して野球を続けてこれたからこそ、このような体力の要る作業がこなせるのでしょうね。同窓生、在校生の皆さん、

教 子 と の 交 流

おめでどう 「天地人」の火坂雅志君!

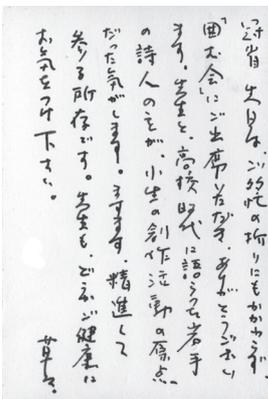
旧職員 上杉雅之 (60回)



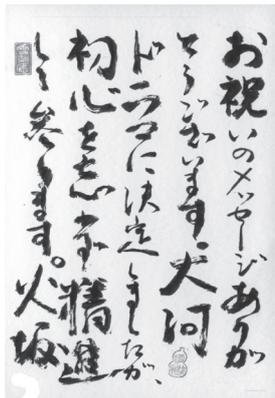
歴史小説家、火坂雅志氏(83回)が〇九年のNHK大河ドラマに直江兼続の「天地人」で登場することが決まった。誠にうれい。そしてたのしみである。中川雅志(火坂雅志はペン・ネーム)君とは七十二〜七十四年の三年間本校で師弟関係にあり、彼が最後の三年生の時はクラス

勉強だけでなく体を鍛えておくことも大切なことですね。金融マンから一転ワイナリー経営者に。ワインを造るに際して、今までの経験は全く役に立っていないとおっしゃっていました。ワイナリーに対する思い、新潟の将来像に対する考えなどを落着いた物腰でしっかりとお話ししてください、決して遠回りではなく、今までは FAX 〇二五六・七〇・二六四六 〇二五六・七〇・二六四七

が、授業の前に先生が話してくださった宮沢賢治の「シゲナルとシゲナレス」の恋物語は今でも時々思い出します。火坂氏が作家デビューした作品「花月秘拳行」を贈ってくれたから手紙のやりとりが始まった。その後彼の作品「覇商の門」の書評を頼まれるようになったりして、現在までに彼の作品は殆んど手にしてきた。文芸評論家の縄田一男氏は「歴史の表裏双方に目をくぼりつつ、興味満点の物語を紡ぎ出す」と火坂作品を評している。筆者の私淑する庄内作家の藤沢周平を尊敬しているという彼が、やがて「越後に火坂雅志あり」と言われる日も近いと信じている。



2000年3月 「岩手の詩人」とあるのは宮沢賢治のこと



2007年4月

お願い 〇九年一月NHKで放送開始前に原作「天地人」上巻(日本放送協会)を一読していただけると幸いです。

寄稿

天満・天神繁昌亭 支配人に恩田雅和さん (76回)

江口 直禎 (56回)



今春より笑いの本場大阪に戦後初めて復活した落語専用の定席、天満・天神繁昌亭の支配人に恩田雅和さん(76回)が就任した。上方落語協会の桂三枝会長に頼まれ、勤めていた和歌山放送局を退社して二月一日に支配人になった。五十七歳、定年まで三年を残しての転身である。毎朝九時に来て、繁昌亭の力ギを開けるところから仕事が始まる。昼席も夜席も出来るだけ高座を聞いて、お客様の反応を見せてもらって大分ムードに慣れてきたという。新潟に生まれ育ったから東京の大学に来るまでほとんど落語とは縁がなかった。慶応義塾大学に入学して二十

昭和十八年十月「学徒出陣」で兄貴分の大学・高専生を戦場に送った翌十九年、私達中学生も「学徒勤労令」によって完全に学業を停止させられ、軍需生産に従事することになった。新潟中学は私が三年生の頃から農家の稲刈りとか新潟港での石炭・大豆の荷役作業に従事する回数が次第に多くなっていったが、あく迄も学業が主であった。しかし昭和十九年七月、夏休みを前に、学業は完全に絶たれてしまった。私は十七歳になったばかり。中学五年生（今で



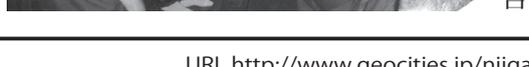
しかし、そんな修学旅行気分はほんの束の間、厳しい試練が次から次へと襲ってきたのである。当時、両親と往復した手紙の一部と日々の献立や出来

事を書いた粗末な手帳を保存してある。名古屋に着いて間もない頃、薄っぺらな便箋の裏に走り書きで寮の部屋の様子を両親に知らせたスケッチもあった。シミが付き、すぐにも切れそうな哀れなスケッチ。(人物は左から高橋君、古川君、岡村君、栗原君、丸山君、廣川君だ。写真を撮るといことは全くなかった)

工場の帰りには、一目散に雑炊をやめざし、長い列に並ぶ。金二十五銭なりの雑炊をアツという間に腹に流しこむ。数カ月も経つと、帰りたい、父母が恋しい。クラシックが聴きたい。頭の中で曲を思い起こす。思い出せない泣きたくなる。勿論、工場での生産業務は誰もが真摯に取り組んだのは言うまでもない。

十二月、濃尾大地震(これは極秘で全く報道されなかった)で悲惨な毎日が続いた。毎日のおかずはイナゴばかり。やがて、連日連夜の B 29 の襲来。遺書、遺品を揃え、繰上げ徴兵検査。トラックで運ばれてきた泥まみれの屍体をスコップでおろす。正月も家に帰れず餅二つ。これが私の十七歳・青春のスケッチである。

一夜を過ごした。バンコックからカトマンズへ、更に空路ルクラ(2804m)へ飛んだ。ルクラでシエルパ十名、ポーター三名、ツアーガイド二名と合流、総勢二十六名、装備運搬用ゾッキョ(ヤクの雑種)十一頭とキヤラバン隊を組み十一月十日ルクラを出発。一日のうち1,000m登り、600m降る行程を繰り返し十三日タンポチエ着。既に高山病の症状を示すものも現れ、高度順化を兼ねて休養。十四日ゴンパにて法要。僧侶五十名による読経は、寒く、薄暗い伽藍の中に九十分に渡って響き、荘厳の内に終えた。アクリルで固めた三枚の遺影は大僧正による清めを受け法布を授かった。一枚は遺霊碑に御家族の写真と共に納め隊員各自の思いを込めた石片で囲みセメント



昭和十八年十月「学徒出陣」で兄貴分の大学・高専生を戦場に送った翌十九年、私達中学生も「学徒勤労令」によって完全に学業を停止させられ、軍需生産に従事することになった。新潟中学は私が三年生の頃から農家の稲刈りとか新潟港での石炭・大豆の荷役作業に従事する回数が次第に多くなっていったが、あく迄も学業が主であった。しかし昭和十九年七月、夏休みを前に、学業は完全に絶たれてしまった。私は十七歳になったばかり。中学五年生（今で

言えば高二)で来春の進学を目指す。指し受験勉強に励む時期であったが、八月十日頃(はつきり憶えていない)新潟駅を出発、名古屋市の愛知航空機製造KK(前身は愛知時計)へと旅立ったのである。修学旅行など考えられない戦時下のこと、富士山が見られるぞ、友と語り合えるぞと、高揚した気分もあった。

両親にあてた手紙を読むと、食物、衣類、菓の無心が続く。日記に残る十一月のある日の献立朝・大根菜汁、沢あん二ノ昼・煮豆昆布、味噌漬一ノ夕・切干大根煮付、沢あん二。肌着はノミの糞だらけ、布団は黒い綿が端の方によつてしま、毛布も無い。黄色い水で洗濯しても却つてよごれるだけ。親元に送った。脚気で足があらならない。

十二月、濃尾大地震(これは極秘で全く報道されなかった)で悲惨な毎日が続いた。毎日のおかずはイナゴばかり。やがて、連日連夜の B 29 の襲来。遺書、遺品を揃え、繰上げ徴兵検査。トラックで運ばれてきた泥まみれの屍体をスコップでおろす。正月も家に帰れず餅二つ。これが私の十七歳・青春のスケッチである。

一夜を過ごした。バンコックからカトマンズへ、更に空路ルクラ(2804m)へ飛んだ。ルクラでシエルパ十名、ポーター三名、ツアーガイド二名と合流、総勢二十六名、装備運搬用ゾッキョ(ヤクの雑種)十一頭とキヤラバン隊を組み十一月十日ルクラを出発。一日のうち1,000m登り、600m降る行程を繰り返し十三日タンポチエ着。既に高山病の症状を示すものも現れ、高度順化を兼ねて休養。十四日ゴンパにて法要。僧侶五十名による読経は、寒く、薄暗い伽藍の中に九十分に渡って響き、荘厳の内に終えた。アクリルで固めた三枚の遺影は大僧正による清めを受け法布を授かった。一枚は遺霊碑に御家族の写真と共に納め隊員各自の思いを込めた石片で囲みセメント

で固めた。全員でお参り。慰霊碑の後ろにはエヴェレストの姿が真近に見える。十五日タンポチエ出発、十六日ティンポチエ着(4350m)寒暖の差、空気の薄さが実感される。高所障害と疲労から体調不良を訴える者が多く、食欲不振、吐き気、咳、ノドの痛みを訴える。ティンポチエからロブジェ(4930m)に入る。十七日朝三時ロブジェを出発。クーンプ氷河を渡り、プモリから延びる小尾根の末端に取り付く。カラパタルが黒い丘となつて見え隠れする。九時三十分カラパタル着。エベレスト南壁、ヌプツェが良く見える。二枚目の遺影は、カラパタルから50m程プモリ(7165m)よりの窪みにエベレストに向け安置、岩片で覆い、小さなケルンとする。合

ある。幸い連日満席で賑つていと聞く。時に大阪へ立寄る機会があったら顔を出し激励してやうて欲しい。新潟の二葉中学校時代はごく目立たない野球少年であった。成功を祈る。

「わが青春のスケッチ」  
金居 直 (52回)

小林光衛先輩 (63回)のヒマラヤ法要  
加藤 清策 (70回)

掌後、直に下山。アイランドピークに向け出発。ベースキャンプに入り休養。翌二十二日第一キャンプに移動。二十三日早朝三時に出発。正面に現れた氷河を右方向に廻り込み岩稜から再び氷河上に出る。クレパスを回避しながら広い雪原に出る。頂上稜線まで150m、勾配60度、70度の雪壁、フィックスザイルを頼りに必死で登る。頂上稜線に出ると風が右方向か

### 79 同期の仲間たちへ (親睦会への案内)

岡田 均 (79 回)

79 同期生は、昭和四十六年に高校を卒業し、今年五十五歳というひとつの節目の年を迎えています。

私たちが子供の頃は、五十五歳といえは定年退職年齢でした。日本が長寿国となり五十五歳ではまだまだ働き盛りであります。豊富な知識や経験、長年にわたり培ってきた見識を生かして社会の発展に寄与すべく粉骨努力している世代です。

そんな中でも、最近、政令市となる新潟市の議員に東区から立候補し、見事当選された小泉君も私たち 79 同期の仲間です。先日、有志が新潟グラウンドホテルに集合し、その労をねぎ

ら強く当たる。言うようにして頂上に向かう。十時頂上着。三枚目の遺影を頂上直下のクレパスに入れた。合掌の後、直に下山。雪壁はエイト環で懸垂下降。第一キャンプを撤収、支援隊と合流、ベースキャンプへ。遺影と共にお供えするつもりであつた日本酒を開け皆であけ、感きわまり号泣する者多数。翌二十五日、日本へ向け下山した。

らいました。(写真) 小泉君の話では、選挙期間中に三万人と会つて自分の市政への思いを伝えたそうです。団塊世代にも負けないエネルギーギッシュな世代でもあります。

小泉君と同様に 79 期の仲間たちは、仕事においても、責任ある業務を日夜こなししております。

それだけではなく、個人で楽しんでることを社会へも伝えたいという思いで様々な活動をしている同期のメンバーも数多くいます。

市民レベルのまちづくり活動や白鳥、トキ(鳥類)などの保護活動に取り組んでいる高橋正

良君や新潟県ラグビーフットボール協会の理事長としてラグビーの普及と発展に力をつくしている三膳惣一君などがおります。

そんないそがしい仲間たちではありませんが、年二回春と秋にゴルフコンペを行なっています。

ゴルフコンペといっても、19 番ホールが目的であり、楽しくお酒を飲むために、ゴルフ場を騒がしております。

19 番ホールだけという酒豪が数多くおり、ゴルフができなくても楽しめます。ぜひ、数多くの仲間から親睦会への参加をいただきたくこの紙面をお借りして案内をさせていただきます。



79 回では青山同窓会総会以外にも時折集まってゴルフ、懇親会などで親睦を深めています。それが同期の絆にもなり総会の出席率も高くなっています。ご無沙汰されている方、下記にご連絡ください。親睦会の案内を送らせていただきます。

(出欠自由です)

代表幹事 白井 行雄

#### 連絡先

吉田至夫 新潟クボタ ○二五・二八三・〇一一

岡田均 新潟市役所 ○二五・二八一・九五六〇

### 82 同期会

#### おとなの遠足 庄内は春でがんす

小林 しおり (82 回)

やって参りました! 「おとなの○○」第二弾「庄内編」です。

一昨年、京都の秋を満喫した 82 期有志の面々は、今度は「藤沢周平ブーム」に沸く春の庄内へ四月二十一日・二十二日、一泊二日の旅を挙行政致しました。栗原隊長、早福副隊長、石崎勘定奉行の三役はそのままだに、新メンバーを加えた男性五名(石崎・内山・栗原・佐藤・早福)、女性四名(小野本、小林、古谷野、七里)の総勢九名です。京都旅行で多少慣れたとは言え、隊長の企画した早朝七時からの濃密なスケジュールに眠い目をこすりながら集合。日本海を眺めながら北上し、酒田市・鶴岡市を巡りました。あいにく二日間とも雨に祟られた旅行でしたが、



咲き誇る桜の樹の幹とのコントラストや新緑が素晴らしく、一日目の昼食で立ち寄った老舗民家の壁に掲げてあった「徳不孤」の意味をメンバー一同、深く味わう旅となりました。(※「徳不孤 必有隣」——徳の高い人は決して孤独ではない。必ず

周りに理解してくれる人、支援してくれる人がいるのだから。〈論語〉今回の宿泊先は農家の離れを改造した趣のある民宿で、和の器と地の物、旬の食材に拘った食事を堪能しました。その母屋には工房が併設され、思想家・遠藤虚頼氏の静謐の教えを守り、黙々と高級反物を織る農家の女性たちの姿も見る事ができました。「私ら、百姓のかあちゃんださけの」と淡々と語るおかみさんの姿に、普段メタボリックに暮らしている自分自身を恥じ、束の間、健康な精神と身体を取り戻せたお宿でした(二食付きで五五〇〇円!)。行く先々で満開の桜が眺められた旅でしたが、特に鶴岡の「赤川堤」の水面に届かんばかりに枝を張る桜並木、最後に立ち寄った「井岡寺(せいこうじ)」のしだれ桜に一同見惚れ、庄内の春を満喫してきました。本日は、二日目最後に、東新潟チームをまとめた早福班には、雨の中のサバイバルゲーム(番外編)が用意されているという充実ぶりなのですが、まあその話は次の機会としようございます。隣の県、庄内には、「武士の一分」も「百姓のかあちゃん」も脈々と息づいていて、がんす。……さあ、次はどこへ行くろう!?

「青山68会展」  
PART IV  
開催のお知らせ

四回目を迎える68回(昭和  
三十五年卒業)の同期生とそ  
の家族による作品展を開催し  
ます。

(会場)

新潟県民会館

一F展示コーナー

(日程)

平成十九年

九月二十日(木)～

二十四日(月)

(主な展出作品)

68回同期生並びに家族の絵

画・写真・書道・陶芸・工芸・

手芸・模型などの作品展

示。

(幹事) 若松昌弘

なお、「青山68会のホーム

ページ」をご覧ください。

(http://www.

kitamura.co.jp/  
aoyama68)

を 習 実 教  
を 終 え

永野 順子 (111回)

ました。しかし実際の学校の雰  
囲気はとても暖かいもので安心  
しました。

実習を通して一番印象に残つ  
たのは、授業をはじめ、HR、  
清掃、部活動、休み時間等に  
一人ひとりの生徒と積極的にコ  
ミュニケーションをとる先生方  
の姿でした。私が生徒だった時  
は当たり前のごとくのように感じ  
ていましたが、いざ自分が実  
習生として生徒と接してみると  
簡単なことではありませんでし  
た。勉強を教えるだけではなく、  
生徒が人として成長するのを見  
守り、導いていくことも教師の  
役割なんだなと改めて感じまし  
た。そして母校に素晴らしい先生  
方がいてくださることを嬉しく

三週間という短い間でした  
が、本当にたくさんのお話を学  
ばせていただきました。青陵祭  
前というお忙しい中、熱心にご  
指導して下さいました先生方に心か  
ら感謝を申し上げます。  
教育改革が唱えられている今  
日、現場は冷たく、厳しいもの  
かと始まる前は不安を抱いてい

私に教えるって何だろう、と  
考えてみた時に何が浮かんだの  
だろうか。分かりやすい授業だ  
ろうか、基本に忠実な授業だろ  
うか?それともより穿ち、面白  
さを追求するべきか?振り返っ  
て思えば二週間ずっと頭に浮か  
んでは消えたのはこの命題でし  
た。

私の緊張や不安よりも、生徒  
の気持ちを考えなくてはならな  
いと気付いたのは担当教諭であ  
る小林先生とのディスカッショ  
ンからでした。教育実習生とは  
いえ、生徒にしてみれば私は一  
人の先生ですし、その果たす役  
割は教員と変わりがないので  
す。  
私が様々な思いを持って教

実 習 を 終 えて

松澤 祥人 (112回)

思いました。  
今回の実習で得たことを活か  
して社会人になっても頑張っ  
ていきたいです。

通信制コーナー

白根大風合戦

風合戦協会青山会代表

笹川 薫 (通37回)

平成八年より、旧通信制同窓  
会の有志を集め参加していま  
す。

白根の大風合戦は、旧白根市  
と対岸の旧味方村が行う観光  
行事で、毎年六月  
上旬の五日間、川  
幅約八十mの中ノ  
口川兩岸から、畳  
二十四枚大の大  
風を揚げて、空中  
でからませ川に落  
し、相手の風綱が  
切れるまで観衆も  
加わって引き合  
う、豪快な世界最  
大のスケールを誇  
る風合戦でありま  
す。この大風合戦  
の生い立ちは、江  
戸時代の中頃、白  
根町の人々が、中  
ノ口川の堤防の改修工事の完成  
を祝って、藩主から贈られた風  
を揚げたところ、対岸の西白根  
(旧味方村)に落ち、家や農作



組とも絵柄が決まっております。  
白根の風合戦は大風がメイン  
で、東軍(旧白根)と西軍(旧  
味方)に分かれ合戦します。各  
組とも絵柄が決まっております。

戸時代から継承されている絵柄  
もあります。各組とも十五枚、  
三十枚製作し、期間中全体では  
約三百枚の大風が天空に舞い上  
がり合戦を繰り広げます。

私たち青山会の揚げている巻  
風とは、風を収納するときに、  
縦骨をはずして巻くことから名  
付けられた六角形の風で、現在  
五十の組が千二百枚以上の風を  
製作し、東西に分かれて合戦し  
ます。

大風合戦の前日には、子供  
風合戦大会があります。昭和  
五十一年から始まった子供た  
ちのための風合戦です。9尺  
×2間(六畳)の風で合戦し、  
現在では二十六チームが参加  
するほどに盛んになっていま  
す。

青山会は三月から風作りに  
かかり、五十枚の風を製作し  
ました。今年は六月七日から  
十一日、雨の日もありまし  
たが中止にもならず、五日間  
合戦ができました。成績は期  
間中の通算成績で順位を決め  
ます。今年の青山会は五十組  
中優勝の部十九位。技能の部  
十五位でした。来年は十位以  
内を目標に頑張りたいと思っ  
ますので、皆さん是非、期間中  
は風合戦を観にいらしてください。  
お待ちしております。

O B 会 報 告

水泳部 新入部員歓迎・部員激励

青山水友会 大黒 善彌 (50 回)

壇に立とうと、そのようなものは生徒にしたら些末な事でしょう。重要なのは本人達が内容を理解し、そして化学を嫌いにならなかつたかという点にあるかもしれません。化学やサイエンスの楽しさに気付いてくれたのなら私は仮初にも教壇に立った意義はあったのでしようが、高望み過ぎるかもしれません。二週間は短く、もつと生徒と関わりたかつたな、という事が実習を終えての率直な感想でした。

今はただ、あの元気で笑顔の素敵な生徒達の未来が、晴れやかである事を願ってやまないのです。

最後になります。が実習期間だけではなく、快く我々を受け入れて頂いた時から本日まで、指導をして頂いた先生方を始め、新潟高校を動かしている様々な方にお世話になりました。この場を借りて感謝を申し上げます。

平成十九年五月二十五日、恒例の新人部員歓迎・現役部員激励と懇談に、江口良助君と母校を訪ねた。顧問、中戸先生より今年の新人部員は五名と聞き、少し寡いかなと秘かに思ったが、私ら50回生が、昭和十三年水泳部に入った時も五名であったこと、また、中戸先生が常々「他の運動部に比べ水泳部は毎年かなりの人数がコンスタントに入る。このことは水泳部が生徒に評価されて居る為と思う。」と、言われて居ることを思い出し、気を取り直して新人部員に

会として発足したのは大正九年である。会であるから一応会則を設けては居るが、要は旧制県立新潟中学校・県立新潟高等学校の水泳部員であった者で、併せて会員相互の親睦を図る団体である。

六・三制の導入以来、遺憾ながら本校水泳部の競技成績は優秀とは申しかねる。しかし、高校生活三年において水泳部員として苦しい練習に耐え、部活に精進したという経験は、諸君が将来社会人としてそれぞれの場で活躍する際、諸君の精神・肉体機能の絶大なる支えとなることを断言して憚らない。と、激励とも挨拶ともつかぬことを話した。副部長青木涼馬君に青山水友会よりの激励の寸志を贈り、現役部員諸君と懇談に入る

が、新潟県人の常として口が重くなかなか話が弾まないが、昔は新入生歓迎と言えば、掘り割りや海岸の砂原で、あずき湯を飲ませたことか、江口君は400・800・1500M F Rの優れた選手だったとか、大黒は昭和六十一年日本マスターズで50M F R日本新で勝つたとか話すうちだんだんほぐれ、嘗てはOBが沢山プールへ

来て、OB二組、現役二組のリーグチームを組みOB現役伯仲のレースをやった、等々あとは the less said the better。終わりに昨年、平田大六君(60回)の肝煎りでやった関川



村での合宿が生徒諸君に好評であり、村の人々も、流石新潟高校の生徒さんは違う」と大変好評であったことから、今年の合宿を再び関川村で行うかどうかについて、中戸先生に御願して生徒諸君が関川村での合宿を希望することを確認して頂き、最後に記念の写真を撮り、短い楽しい時をすごした。中戸先生、江口君と「少しづつスイミングクラブ出身の生徒も増えて居るようでもあり、県水連の強化選手に須藤拓馬・森岡秀樹両君が選ばれて居ることもあり、そのうち、巨人と衆に仰がれて永久の緑に色そえる」日も夢ではあるまい。」など話し合いながら母校をあとにした。

青山水友会の集い

中川 弘 (58 回)

秋晴れの十月十五日(平成十八年)、二十回青山水友会が開かれた。二十回とは、よくも続いたものだ。最長老の近藤圓氏(34回)は今でも九十四歳の年にもめげず矍鑠たる姿に一同皆驚く。氏は第十一回ベルリオンオリンピックの候補選手である。新潟中学昭和二年入学だから生まれていない人ばかりだ。その当時、高い鉄棒だけがグラ



ンドの脇にあつたというから古いものだ。近年体操は非常に進歩し、今年から十以上の点数がつけられるようになった。器具と補助具の進歩により全部そなえ付けられる学校は少ないだろう。金と部員と指導者不足だ。今からみると、昔は幼稚で野蛮であつた。時代のしからしむところか。タイムスリップして、のお酒はうまい。体操はずべてのスポーツの基礎であり、新潟中学より新潟県の体操は生まれ、維持されてきたことに誇りを持つ。

渋谷興司氏(53回)は手品が趣味で、安全ピンをハンカチにさし、瞬時にハンカチから外す手品に、皆ハンカチを出して一生懸命やっている姿は手品教室になる。特に長老の近藤氏は熱心で、好奇心が非常につよいところに長寿の一端をかいまみる。かんたんな「三の手品に「ヘエ...」「ホー...」と叫んで！」座はどんどんもりあがる。一生懸命に何回もやる事は、昔体操の練習と一脈通じるものがある。なる程なる程と何回も何回もハンカチに安全ピンをさしている姿に、酒をもってくるウエイトレスも、へーと驚いて



いる。体操をやった同志が、共に語り合い、同じ酒を飲み、同じ行動をする。ふつふつと友情をかんずる、すばらしい一時である。出席者は近藤圓(38) 土会する。

## ボート部OB 青山艇友会定時総会開催

三月四日 新潟市にて  
渡辺 研二 (75回)

ボート部OB会・青山艇友会は定時総会を、平成十九年三月四日(日)、新潟市内の四川飯店で開催いたしました。青山同窓会から石田副会長、県ボート協会から原会長のご出席をいただき、高校からは小林教頭先生、現顧問の大平先生、高野先生にOBを加え総勢十八名でした。96回のOBが四名出席は特筆も

郎(75)、渡辺研二(75)、大井峰夫(76)、水沼真一(78)、佐藤正昭(80)、桜井優(80)、神林正浩(89)、中川圭一(96)、荒井重信(96)、加藤敢士(96)、五十嵐正人(96)

種目で中部高校選抜大会へ出場。この大会は自艇参加のため、練習及び競技出場には新潟南高校の艇を借用しました。このようなことに鑑み、女子ダブルスカルの購入について支援をいたすことにしました。

### 支援活動情報

▽ミニボートは船舶免許の無い顧問でも乗れるので練習水域に出て行けます。水上練習中に信濃川岸壁で遠目で練習をみているだけ、ということはなく安全面でも有効活用しております。

▽OB現役懇親会を平成十八年七月十六日に実施。現役の練習状況やミニボート等を確認後、近くの食事処で昼食会。現役代表の熱い決意表明を聞くことができ、OBと現役の懇親会は大変に有意義でした。OB役員四名、顧問三名、高校生十名の総勢十七名でした。



ボート部 (県総体)

## 平成十九年度 青山野球倶楽部総会 兼新入会員歓迎会

事務局 白井 行雄 (79回)

三月二十三日(金) 十八時 三十分より、恒例の総会兼新入会員歓迎会が、田中健一氏(105回)の新潟駅前クオースビル五階『信濃川』で開催されました。参加者は、高校側から羽豆拓



喜びにわく野球部員

に今年も参加することになりました。硬式ボールを握ってプレーのできるこの両大会に、多くの会員が出席しますようよろしくお願ひしたいと思います。

今回は役員改選の年に当たります。審議の結果、湯浅一平会長(63回)、高橋昇副会長(73回)、鈴木正博副会長(76回)、大塚忠雄幹事長(77回)、渡辺国夫(72回)・小沢謙一(93回)両会計監事、白井行雄事務局長(79回)の留任を決議しました。

た。第四十回青山野球倶楽部ゴルフコンペは加藤弘氏(67回)、第四十一回は高橋昇氏(73回)が優勝されたこと、八月十五日の第三十回青山葦原定期戦(硬式野球)は、現役は引き分けたが、OBは葦原に花を持たせたこと、しかしホンマ健康ランドで行なわれた懇親会では青山十六名、葦原十三名の参加で、人数の上では青山の勝利に終わったこと等でした。

平成十九年度事業計画案について審議が行われ、八月十五日(水)に第三十一回青山葦原定期戦を小針球場で実施、昨年から再開された新潟県高校OB野球大会(八月十二日〜十六日)

また一昨年、母校野球部に寄贈していたマイクロバスの車体に、『新潟高等学校野球部』と書き入れることも決議し、その経費を予算案に計上しました。「マイクロバスのおかげで、どこへでも練習試合に行けるようになり、充実した一年になりました」という感謝の言葉とともに、「現役時代に受けた先輩方の物心両面の支援を、今後は現役選手に向けたと思います」という高井雄平主将をはじめとする新会員の決意が会場を沸かせてくれた後、母校野球部の甲子園出場を祈念し、全員で「丈夫」を歌い、散会しました。

# 剣道部OB会の活動報告

青山剣友会 事務局代表

町田一越 (95回)

平成十八年度の活動結果をご報告致します。

一、平成十八年度総会 八月十二日にイタリア軒で開催されました。関崎会長(45回)、ご来賓の青山同窓会・風間士郎副会長からご挨拶を頂戴した後議事に入りました。まず平成十七年度会計報告。会計委員の小柳貴裕氏(99回)より会計報告が行われ、承認されました。次に規約改訂の件では、事務局より以下の説明をさせて頂きました。「昨今の会員増加に伴い、会の顔である会長・副会



長の幅を広げてより多くの会員から剣友会行事に参加していただけるようにしたい。副会長を現在一名から若干名(今回二名)に改訂する案を提出する。」こちらも承認されました。規約改定を受け、任期満了に伴う役員改選の議題に移りました。今回は関崎会長から退任のお申し出があり、事務局より新会長に村島滋現副会長(52回)を、副会長に吉田至夫氏(79回)と荻庄則幸氏(83回)を推薦申し上げ、満場一致で承認されました。尚、関崎前会長には引き続き剣友会の「顧問」としてご指導いただくことになりました。総会に引き続き、新潟高校剣道部顧問の渡辺治夫先生(88回)から、母校剣道部の近況及び抱負をお話ししていただいた後、大石正信氏(50回)の乾杯の音頭により懇親会となりました。お盆前の日程にもかかわらず、総勢三十五名の会員から参加をいただき、美味しい生ビールを酌み交わしながら終始和やかに親交を深めることができました。閉会を前に、宗村信明氏(88回)の指揮で母校発展の願いを込め

て、全員で応援歌を斉唱しました。最後に村島会長から就任のご挨拶を兼ねて締めとなりました。

二、母校剣道部とOBの合同稽古会 毎月一回、新潟高校剣道場にて現役生・OBを始め一般の参加で実施しております。十八年度は四月十五日、五月二十七日、六月十七日、七月二十二日、八月十二日、九月十六日、十月七日、十一月十二日、十二月十六日、一月二日、二月十七日、三月十七日に実施致しました。特に盛夏の八月十二日は四十名、新年一月二日は五十名の参加があり、道場内には活気が溢れ、充実した稽古が行われました。

## 三、会員の活躍

新潟県剣道連盟会長に五月、前田利雄氏(55回)が就任  
白鳥十三こと高橋正氏(55回)が新潟市美術館市民ギャラリーにて個展を開催(九月二十八日)

第五十二回全日本東西対抗剣道大会(九月二十四日)に、今西博一氏(87回)が出場  
第四十七回新潟県実業団剣道大会(十一月二十三日)で、荻庄誠氏(87回)が準優勝

四、母校剣道部の近況 平成十八年度は目立った戦績を残せなかつた剣道部ですが、平成

十九年四月より新顧問に剣道専門家の望月先生を迎え、新入部員七名が加わり、総員三十二名が毎日熱心に稽古に励んでいきます。五月十一・十二日に行われた新潟地区大会において、男子団体五位・女子団体六位、県大会にシード権を得ました。イ

ンターハイ予選を兼ねた県総体が六月十一・十二日に行われ、残念ながら上位入賞はなりませんでしたが。  
五、総会の予定 来る八月十一日(土)十七時よりイタリア軒で恒例の青山剣友会総会を計画しております。

## 八月十四日 青山ソフトテニスクラブ

山崎 一正 (78回)

この日は当クラブにとつて毎年総会が開催される特別な日です。昭和六十三年の八月十四日に開催してから今年で二十一回目。誰が決めた訳ではないのですが、この日に高校に行けば必ずOB会をやっているとの了解が出来上がっていました。

集まります。出欠回答の返事を集めてもらっています。さつぱり当てになりません。全く幹事泣かせですが、しつかりと年会費と現役への寄付は頂きます。クラブの日常の活動は、毎週日曜日に午前七時から九時まで高校のテニスコートをお借りして朝練習をしています。健康維持が主目的ですから、昔のよう

当日は往年の迷プレーヤーが集い、上は七〇歳以上から現役高校生まで、各チーム六名構成で団体リーグ戦を競います。この日はお盆の期間ですから、帰省を総会に合わせて全国からやって来ます。地元夏祭りの為、メッセージだけの人、『みんな元気かな?』と顔を見に来るだけの人、子供連れで来る人。お盆の接客接待があり一日中参加は無理でも顔を見せてすぐに帰る人など様々。プレーに参加しなくても毎年これを楽しみに

にこのメンバーから団体出場クラスのプレーヤーが輩出すると思われませんが、新潟市でのチーム対抗で五部優勝四部復帰を目指して頑張っています。しかし、教員になった卒業生が頑張っています。新潟県ソフトテニス連盟の会長には、高木睦夫先生(64回)、巻高校には津野誠司先生(88回)が指導者として、川西高校には柳直子先生(94回)が、村上中等教育



学校には梅本真理子先生(105回)が現役プレーヤー兼指導者として二〇〇九年の新潟国体に向けて新聞紙上に名前が見えます。現役部員は今年の北信越大会に二チーム出場しました。野田智大・坂井宙組、長谷川順紀・呉井洋太組。近年は部員数が減少気味ですが、ナイター設備も整い、クレイコートとしては県内一番の環境で、阿部浩治先生、国体選手の新任高橋陽介先生の指導のもと捲土重来を期して部活動を続けています。  
今年も八月十四日は昼の部と夜の部の懇親会を合わせて一〇〇人近い卒業生が集まるでしょう。四五〇名以上の登録会員がこの日を楽しみにしています。

# バドミントン部OB会 十九年度総会報告

松田 健 (101回)

平成一九年五月二十六日(土)、十八年度青山バドミントンクラブの総会が、65回から101回までの十四名の参加を得、東急インにて行われました。

北村会長(72回)の挨拶で始まり、十八年度の事業報告・決算と十九年度の事業計画・予算それから役員改選が決議されました。今年度もOBの交流を図ることともに、現役との交流・活躍の手助けをするべく練習会やバーベキュー大会・ゴルフコンペ等を行うことが決議されました。中でも新潟を離れている方が参加しやすいようにと企



画された新年会と今回の総会では新たな若手の新メンバーの参加を得ることができ、ますます活気づいております。

私自身も夏のバーベキュー大会以来の参加でしたが、学生時代にたつぷりしごかれ(バドミントン部名物そり跳びは本当に辛かったものです。・)いやご指導くださった玉井先輩(99回)に久々にお会いでき感無量でした。会の中では現役への支援のあり方などについて熱い議

論が交わされ、二時間半の総会では時間が足りず、古町の二次会場でも大いに盛り上がりました。中でも私が現役だったころにOBの皆様にご尽力頂いた中国黒龍江省との交流試合の話など、現役のときには判らなかつた苦勞や思い出話を聞くことができ素晴らしい時間でした。

「後輩の練習に足を運んでください。それが何よりの励みになります。」という声があります。最近すっかりご無沙汰しているなあと反省し、今年度は同期の仲間にも声をかけて体育館に足を運ぶ機会を作ろうと思いつつ、十九年度総会報告を終わります。

## 第二三回「青山ゴルフ会」

岡田 尚子 (69回)

五月十三日(日)「紫雲ゴルフ倶楽部」飯豊コースにおいて開催されました。

49期本田先生を筆頭に96期まで十二組・四十五名の参加。私は紅一点東京から参戦。いつも参加するときは同期の大森さんと紅二点なのですが不参加ということで欠席するつもりだったから「69回四人でエントリーするの電話が・・・もちろん車を

飛ばして帰りました。

インとアウトからそれぞれスタート。雨になるかな?と思われた空もいつの間にか青空に。ところが風もどんどん強くなり「ナイスショット!」がブーメランのように池のほうへ。ボールの方向は風任せ。こんなはずではなかったと思いつつ、体力より脳力の日でした。

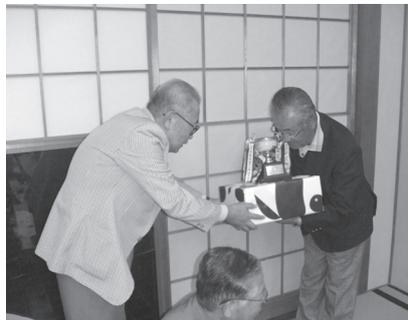
表彰式は市内に戻って駅前の「信濃川」で。上村会長のご挨拶から始まり世代を超えての和気藹々の懇親会。優勝は小林俊雄さん(63回)でグロス87・ネット73.2、ベスグロ優勝もされました。お見事!準優勝は菅沼重登さん(67回)グロス100・ネット74.8でした。

## 優勝の感想

小林 俊雄 (63回)

団体優勝はもちろん69期!バンザイ!でも、な、なんと準優勝は60期以前組。総合点0.4の僅差でした。やつぱり経験がものを言うのでしょうか?次回は大きく優勝したいものです。

生の先輩六名の四回目的リンクスコースを回る旅(ゴルフの聖地セントアンドリューズをはじめ、スコットランド・アイルランド・北アイルランドで海岸に近い、主に過去に全英オープン開催コースを選んでプレー)にお供させていただき、十五日間連続強風下でプレーした経験が役に立ちました。三つ目は、年相応飛距離が落ち、六十五才過ぎにはじめてボギーゴルフ(ボギーオンワンパットでバーを拾う)に徹し健康ゴルフが身についたこと。それにしてもコンペに参加、毎回感心しているのが一まわり年長の本田・上村両先輩が矍鑠としてプレーをする姿です。両先輩を見習い、私も足腰を鍛え末長くゴルフを楽しみたいと思います。また、今回も一日ご一緒いただいた湊先輩(61回)にお世話になりました。



春の珍事、強風で砂煙りが舞う悪コンデションの中、満71才の誕生日直後、ベスグロ優勝という勝利の女神が微笑み、喜んでおります。勝因は何といつても不参加の返信をしたにもかかわらず、同期の相馬潔君と三浦喜代次君から団体戦の参加資格三名必要と誘われ、コンペに参加するチャンスを与えていただいたことに尽きます。二つ目は、二〇〇四年五、六月、61回

青山ゴルフ会  
事務局よりのお知らせ

次回の青山ゴルフ会は九月三十日(日)に阿賀高原ゴルフクラブを予定しております。常時会員を募集しておりますので、興味のある方は以下宛ご連絡願います。

青山ゴルフ会事務局  
脇坂・本間  
Tel025-229-8200  
Fax025-225-7164



# 世界ジュニア選手権大会 参加報告・お礼

フェンシング部三年 遠藤 理紗



フェンシング部

手は体が大きく日本の選手との試合と違うことはわかっていましたが、今回の大会では外国の選手を相手にうまく試合を進められませんでした。今大会や事前合宿でコーチに教えていただいたことや試合の経験を、今後の練習に活かしたいと思えます。特に自分から攻めてポイントをとる技を身につけたいと思います。

四月十日〜十八日トルコ共和国ベレク市で行われた、二〇〇七年世界ジュニア・カデ選手権大会に、ジュニア女子エペ三名の日本代表選手の一人として参加しました。多くの皆様から励ましをいただき、また青山同窓会から激励金を頂戴しほんとうにありがとうございます。

個人戦は予選プール一勝四敗、団体戦トーナメント日本二十七―四十五イギリスという結果でした。エペは全身が有効面で先に突いたほうが得点になる種目です。海外試合の経験を積むために二月にオーストリアで行われたジュニアワールドカップに参加して、外国人の選

七月にカザフスタンで行われるアジアジュニア・カデ選手権大会と八月の佐賀インターハイに出場することになっていますので、顧問の先生やコーチに指導をいただいで、フェンシング部の仲間たちと気持ちをひとつにして練習を重ねていきたいと思えます。

### 試合結果

個人戦 四―五デンマーク

五―四中国

三―五フランス

四―五トルコ

三―五イスラエル

### 団体戦

日本二十七―四十五イギリス

(早稲田大学坂野選手、日本大学相馬選手、新潟高校遠藤)

## 平成 19 年度新潟高等学校部活動県総体成績一覧表

1 陸上競技	男子 200m	第4位	柳沼 諒	(北信越大会出場)
		第6位	高橋 理寛	(北信越大会出場)
	110mH	第4位	内藤 智	(北信越大会出場)
	5000m	第9位	飯塚 正樹	
	4×100mR	第4位	小林、柳沼、内藤、高橋	(北信越大会出場)
	棒高跳び	第1位	高橋 理寛	(北信越大会出場)
	走り幅跳び	第5位	青木 成史	(北信越大会出場)
	学校対抗	第6位		
	女子 100m	第1位	平澤 薫	(北信越大会出場)
	200m	第2位	平澤 薫	(北信越大会出場)
	800m	第7位	見原 果林	
	1500m	第6位	船登 美岬	(北信越大会出場)
	3000m	第8位	船登 美岬	
100mH	第6位	笠原 奈央	(北信越大会出場)	
4×100mR	第5位	佐藤、小林、笠原、平澤	(北信越大会出場)	
	学校対抗	第8位		
2 男子バスケットボール	ベスト16			
3 女子バスケットボール	ベスト16			
4 弓道	個人男子	ベスト16	佐藤 春紀	
			本田 俊博	
			渡邊 誉	
			金子 彩	
	女子個人	第5位		
団体男子	予選敗退			
女子団体	第3位	苅部 睦美、加藤 里美、廣瀬 麻衣、今村 麻乃、金子 彩、田村 有利		
5 女子テニス	団体戦	ベスト8		
	ダブルス	ベスト16	藤川・佐久間組	
	シングルス	ベスト16	藤川 愛里、佐久間 彩花	
6 男子テニス	団体戦	ベスト16	高橋 香奈	
	シングルス	2回戦敗退	内山 寛之	
	ダブルス	2回戦敗退	小泉・目黒組	
7 空手道	男子団体形	1回戦敗退		
	女子団体形	2回戦敗退		
	男子個人形	2回戦敗退	林 健太郎	
	女子個人形	2回戦敗退	横田 芽衣	



陸上部



弓道部



山岳部

	男子団体組手	3 回戦敗退	
	男子個人組手	第 5 位	木原 拓哉
		2 回戦敗退	川上 翔太
		1 回戦敗退	林 健太郎
	女子個人組手	第 5 位	横田 芽衣
8	ボート	男子シングルスカル	第 6 位 清野 賢一郎 敗者復活戦敗退 小林 遼平
		舵手付クオッドブル	第 6 位 新潟高校
		ナックルフォア	第 3 位 新潟高校
		女子ダブルスカル	第 2 位 石川・岩橋組 (北信越大会出場)
		ナックルフォア	第 2 位 新潟高校・新潟南高校合同
		男子総合	第 3 位
		女子総合	第 3 位
9	柔道	男子団体予選リーグ	1 位 決勝トーナメント 1 回戦敗退 (0-5 新発田)
		男子個人 60kg 級	ベスト 16 星野 悠樹
10	剣道	男子団体予選リーグ	2 位 (予選敗退)
		女子団体予選リーグ	2 位 (予選敗退)
11	サッカー		ベスト 8
12	ラグビー	2 回戦敗退	1 回戦 24-19 新発田 2 回戦 12-41 新潟工
13	男子バレーボール		ベスト 16
14	女子バレーボール		2 回戦敗退
15	フェンシング	男子個人フルーレ	第 1 位 高橋 直人 (全国大会・北信越大会出場) 第 2 位 福田 拓哉 (全国大会・北信越大会出場) 第 3 位 佐藤 将 (北信越大会出場)
		女子個人フルーレ	第 1 位 遠藤 理沙 (全国大会・北信越大会出場) 第 4 位 山崎 唯 第 6 位 又地 春日
		男子個人サーブル	第 1 位 佐藤 将 (全国大会・北信越大会出場) 第 2 位 浜田 翔 第 6 位 木村 卓哉
		女子個人サーブル	第 2 位 小澤 綾子 第 3 位 笠原 未来
		男子個人エペ	第 1 位 福田 拓哉 (全国大会・北信越大会出場) 第 2 位 洪水 航
		女子個人エペ	第 1 位 遠藤 理沙 (全国大会・北信越大会出場)
16	卓球	男子団体	1 回戦敗退 1-3 長岡向陵
		ダブルス	ベスト 16 坪川・砂山組
		女子団体	1 回戦敗退 0-3 阿賀野
		ダブルス	ベスト 32 橋本・鏡組
		シングルス	ベスト 16 橋本 歩美 (北信越大会出場)
17	バドミントン	男子団体	1 回戦敗退 0-3 新発田
		女子団体	1 回戦敗退 2-3 阿賀野
18	ソフトテニス	男子団体	2 回戦敗退 1-2 三条東
		個人	ベスト 16 野田・坂井組 (北信越大会出場) 長谷川・呉井組 (北信越大会出場)
		女子団体	ベスト 16 1-2 三条商業
		個人	ベスト 32 水野・荻荘組
19	山岳		奨励校
20	水泳	男子総合	7 位
		200m 個人メドレー	1 位 森岡 英樹 (北信越大会出場)
		400m 個人メドレー	2 位 森岡 英樹 (北信越大会出場)
		400m 自由形	須藤 拓馬 (北信越大会出場)
		1500m 自由形	4 位 須藤 拓馬 (北信越大会出場)
		400m リレー	6 位 須藤、森岡、菅原、鈴木 (北信越大会出場)
		400m メドレーリレー	8 位 菅原、森岡、須藤、鈴木 (北信越大会出場)
		800m リレー	6 位 須藤、森岡、菅原、鈴木 (北信越大会出場)
21	野球		7 月 13 日～ 開催予定
	※ シンクロナイズドスイミング	日本選手権 2007	チーム 18 位
		東日本選手権	チーム 3 位
		ソロ	2 位 山口 莉奈
	※ 新体操	総合	4 位
		ロープ	4 位
		フープ	4 位 阿部 未侑加

※は本校の部活動ではありません。

## 大学入試結果

3月16日、全日制課程388名の生徒が無事卒業してきました。卒業式当日は天候に恵まれ、長谷川会長の前で応援団長藤崎雅史君が元気良く宣誓し、卒業生が入会しました。

さて、今年は新課程入試の2年目になります。1月に実施された大学入試センター試験は昨年度易化した反動で大幅に難化し、多くの受験生が苦戦しました。そういった中で新潟高校生は健闘し、次に挙げる立派な成績を残しました。

<全体的な結果>

①3年連続して国公立大合格者数が200名を超え、進学率も70%を超えました。

②難関と言われる大学で健闘しました。特に東京大学では合格数が10になり、とうとう2桁に到達しました。

これらが本校の入試結果の特徴と言えます。①については、一昨年、昨年に続き、学年団が一致団結して生徒指導・学習指導に当たり、生徒がこれに答え、しっかり学習し受験した結果と思われる。

進学率は昨年度より2.5ポイントダウンし73.2%となりましたが、浪人する生徒は2年続けて100名を割り込みました。少子化の影響で合格し易くなったとはいえ、同じ10クラス400名規模であった2000年の卒業生が進学率52.6%、浪人生198人から考えると隔世の感があります。

②東京大学のここ4年間の合格数は、3→7→9→10、京都大学は2→2→5→6で確実に合格数が伸びています。また、旧帝大を含む難関大の合格数もここ4年間で、46→63→75→75と推移し、近い将来3桁100人の合格を達成することでしょう。

続いて新潟高校生に希望の多い医学部医学科ですが、こちらは少子化の影響も受けず全国的に厳しい入試が続いています。その中で本校の3年間の国公立大医学科の合格数は14→15→13でそれほど数字の変動はありません。しかし、その中身が様変わりしています。新潟大学医学科はこの3年間で9→7→3と激減した半面、昨年は東北大医学科に2人進学し、今年は東大理Ⅲ、京大医学科、北大医学科へ1人ずつ進学するなど、新潟大学にこだわらない生徒の幅広い進路選択が見えてきます。

<その他>

昨年度は学級減でクラス数が10→9となりました。今年度はクラス数自体は変わらないものの理数科1→2、普通科8→7という募集学級の変更がありました。これには医師不足を背景にした新潟県の窮状があります。なお、来年度の新潟県の高校入試は全県1学区制が計画されています。生徒募集において、この数年で大きく変わることになりました。

最後にいかなる時代、いかなる生徒であろうとも学年団及び各教科と連携し、生徒の持てる力を最大限に伸ばす進路指導をしていきたいと考えています。

2007 主な大学の現役合格者数 (延べ数)

主な国公立大学合格者数

大学名	2005	2006	2007
北海道大	10	15	15
帯広畜産大		1	2
旭川医科大	1	1	5
東北大	19	24	22
秋田大	3	4	3
山形大	2	3	
筑波大	9	13	5
埼玉大	3	4	4
千葉大	13	13	8
東京大	7	9	10
東京外語大	1	3	1
東京芸術大			1
東京学芸大	4	9	2
東京工業大	5	2	4
東京農工大	1	1	1
お茶女子大	4	6	2
電気通信大	3		
一橋大	3	3	1
横浜国立大	10	8	7
新潟大	81	73	69
長岡技科大	1		
富山大		1	2
金沢大	3	7	5
信州大	2	3	
静岡大	1	1	1
名古屋大	1	1	1
京都大	2	5	6
大阪大	1	2	5
神戸大	2	1	3
九州大	1	1	1
首都大東京	9	3	4
横浜市立大	2	1	2
その他	9	15	14
合 計	213	233	206
合 格 率	44	49	44

主な私立大学合格者数

大学名	2005	2006	2007
早稲田大	34	41	32
慶応大	18	18	10
中央大	22	36	30
明治大	23	35	36
立教大	7	20	22
法政大	22	21	17
日本大	9	6	7
上智大	5	5	5
青山学院大	11	9	12
学習院大	7	7	4
北里大	5	6	4
国学院大	5	4	6
I C U	3	2	
駒沢大	4	9	1
自治医科大		1	
成蹊大	6	4	2
成城大	4	3	4
専修大	6	9	2
津田塾大	7	11	6
東京農業大	3	5	5
東京理科大	43	21	20
東京薬科大	4	3	4
東京女子大	6	6	10
東邦大学		3	1
日本女子大	5	4	9
明治学院大	6	6	7
神奈川大	4	6	3
東海大	2	5	4
文教大	6	7	8
新潟薬科大	7	17	15
同志社大	2	6	4
立命館大	18	12	9
その他	75	96	63
合 計	379	444	362
合 格 率	40	45	41



職員 の 異 動  
(平成十九年四月)

〈退職 転出(転出先)〉

教頭 石川 朝洋(五泉 校長)  
 教諭 沖野 峰男  
 (県教育センター指導主事)  
 渡辺 步(明鏡)  
 福原 泰裕(新潟西)  
 後藤 純哉(巻)  
 生田 護(巻)  
 玉木 正己(羽茂 教頭)  
 布施 暢子(糸魚川)  
 木村 正史(新潟西)  
 猪俣 惇(万代)  
 松井 哲郎(長岡農)  
 高野 大(塩沢商工)  
 風間磨理子(巻)  
 内山 文夫(長岡)  
 小林 直子(万代)  
 非常勤講師 澁谷 岳史  
 皆川 敬志  
 柄倉 浩  
 事務長 遠藤洋次郎(退職)  
 主査 片桐 早苗(退職)  
 主査 佐々木加代子  
 (下越教育事務所)

〈転入(前所属)〉

教頭 猪又 斉(高田 教頭)  
 教諭 樺澤 直人(新津)  
 本間 靖(西新発田)  
 児玉 悟(国際情報)  
 西倉 直樹(新潟翠江)  
 佐久間 俊(新津)  
 小野島あゆみ(新潟西)  
 江村英里花(新採用)  
 高木 創(新発田)  
 望月 雅之(新発田)  
 永村 邦栄(巻)  
 櫻井麻利子(白根)  
 非常勤講師 笠原 崇弘  
 非常勤講師 長谷川貴久  
 常勤講師 笠原 崇弘  
 常勤(3ヶ月) 乙川 明美  
 事務長 増村 文夫  
 主査 原 洋子(巻県税部)  
 (十日町病院)



事 務 局 よ り

青山同窓会費納入についてのお願い

会費を納入していただきますと、「青山同窓会報」を毎月お届けいたします。申し訳ありませんが、納入のない方には「会報」をお送りすることができなくなってしまうとさせていただきます。是非、お忘れなくお振り込みください。よろしくお願い申し上げます。  
 なお、会費は年会費(四月一日〜翌年三月三十一日)となっております。

年会費 一口 一、〇〇〇円

できるだけ二口以上でお願いいたします。

振込先：郵便振替口座

全日制 00650・7・4455 青山同窓会  
 通信制 00530・1・74207 青山通教部会

同期会を開催される期の幹事の方へお願い

同期会の開催に合わせて、是非、会費納入者の拡大にご協力下さい。早めに、開催の期日連絡頂ければ、事務局で、同窓会報・会費納入のお願い・振込用紙としてA4サイズが入る角2の同窓会封筒を人数分用意しておきます。よろしく申し上げます。

会報へ寄稿される方へ、原稿字数のお願い

原稿の字数は八〇〇字から一〇〇〇字の間で書いて下さるようお願いいたします。一〇〇〇字以上ですと紙面の関係で載せられなくなりしますのでよろしく申し上げます。

表紙題字：小川 和恵(101回) イラスト：池主 憲夫(68回)

母校にピアノを寄贈

母校音楽室の練習用ピアノが老朽化し、出ない音があるなど授業にも大きな支障を来しているとのお話があり、青山同窓会として現役生徒の活動を支援すべくその寄贈を申し出ました。

去る6月12日、カワイ楽器製のアップライトピアノが納入・設置され、さっそく授業に活用されているとのこと。さらに、音楽担当講師の澤田茜さんから、会長宛に礼状をいただいている事もあわせてお知らせいたします。



青 陵 祭

平成 18 年度  
青山同窓会会費納入者追加分

(H 1 8 . 1 0 . 1 ~ H 1 9 . 3 . 3 1 納入のもの)

“1 口 1,000 円。なるべく 2 口以上でお願いします。”

振込先：郵便振替口座

全日制 00650-7-4455 青山同窓会

通信制 00530-1-74207

青山通教部会

全日制

41 回 S 9 年  
五十嵐 富 郎  
45 回 S 13 年  
小 島 平 弥  
寺 山 恒 男  
48 回 S 16 年  
佐 藤 素 一  
吉 澤 宏 英  
49 回 S 17 年  
井 上 明  
50 回 S 18 年  
坂 口 忠 城  
51 回 S 19 年  
厚 地 武  
金 卷 保 男  
羽 賀 栄次郎  
52 回 S 20 年  
阿 部 和 夫  
53 回 S 20 年  
白 井 勇  
藤 田 英 治  
正 木 宏  
55 回 S 22 年  
阿 尻 威 吾  
56 回 S 23 年  
荒 川 昭 寿  
遠 藤 芳 幸  
高 見 久 義  
早 川 潔  
57 回 S 24 年  
渡 辺 好 博  
58 回 S 25 年  
斉 木 利 雄  
早 沢 良 雄  
皆 川 敦  
59 回 S 26 年  
青 柳 実  
江 口 昌 男  
小 熊 英 夫  
神 田 悌 三  
品 田 茂 博  
田 辺 治  
納 谷 喜 郎  
60 回 S 27 年  
石 川 紀 一 郎  
清 水 悌 作  
61 回 S 28 年

大 矢 英 一  
佐久間 洋 一  
佐 藤 建 一  
佐 藤 敏 夫  
62 回 S 29 年  
石 崎 富 士 臣  
杉 内 愛  
鈴 木 勉  
中 島 寛  
丹 羽 仁  
三 國 龍 彦  
63 回 S 30 年  
五十嵐 健 治  
今 井 幸 雄  
太 田 滋  
片 桐 重 雄  
金 川 博  
萩 野 一 英  
藤 井 洋  
64 回 S 31 年  
大 石 正 晃  
小 熊 甚 吉  
片 桐 彰 子  
近 藤 恭 一  
佐 藤 茂 司  
西 野 貢 司  
早 川 周 作  
本 間 義 章  
65 回 S 32 年  
小 川 正  
本 間 英 男  
三 浦 進 次  
66 回 S 33 年  
内 田 定 寛  
塩 谷 芳 彦  
下 川 友 也  
八 木 純  
67 回 S 34 年  
石 井 幹 男  
北 川 寛  
那 須 野 昌 弘  
西 章  
広 野 達 彦  
堀 川 楊  
松 井 啓  
右 田 史 朗  
68 回 S 35 年  
磯 辺 潔

岡 村 光 郎  
佐々木 賢 介  
鈴 木 裕 徳  
広 川 忠 夫  
藤 田 伸 二  
渡 部 治 子  
69 回 S 36 年  
青 木 利 祐  
阿 部 正 昭  
渋 谷 澄 夫  
清 水 一 男  
高 杉 昭 二  
廣 瀬 淳 之  
70 回 S 37 年  
小 川 弘 良  
斎 藤 忠 正  
武 石 正 中  
西 丸 功  
71 回 S 38 年  
中 村 英 一  
丸 山 紀 子  
山 田 耕 司  
72 回 S 39 年  
阿 部 道 行  
渋 井 和 夫  
渡 辺 一 重  
73 回 S 40 年  
金 田 清 彦  
田 島 健 三  
田 中 三 郎  
樋 熊 節 子  
74 回 S 41 年  
相 場 哲 朗  
伊 藤 宏  
小 原 俊 雄  
風 間 悦 男  
川 上 耕  
鈴 木 勝 紀  
土 屋 彰 義  
堤 葵  
波 多 腰 明  
75 回 S 42 年  
大 野 敏 雄  
川 上 滋  
鈴 木 広 志  
玉 木 廣 一  
堀 皆 川 信

武 藤 芳 郎  
吉 川 恵 次  
76 回 S 43 年  
加 澤 正 樹  
北 畠 彰  
佐 野 敬 文  
竹 内 正  
田 中 明  
中 山 三 喜 栄  
山 崎 真 理 子  
77 回 S 44 年  
五十嵐 久 美 子  
桑 原 彰 子  
佐 藤 寿 一  
生 野 勝  
長 谷 川 正  
波 田 野 節 子  
78 回 S 45 年  
澤 田 清  
寺 尾 綾  
寺 尾 英 明  
79 回 S 46 年  
瀬 戸 聡 和  
本 間 義 康  
80 回 S 47 年  
池 田 博 文  
神 原 誠  
田 卷 明 恒  
81 回 S 48 年  
霜 鳥 雅 徳  
82 回 S 49 年  
荒 川 育 子  
成 田 昌 稔  
83 回 S 50 年  
相 田 八 郎  
植 木 秀 功  
仲 村 スイ 子  
村 尾 弘 子  
84 回 S 51 年  
荒 川 朋 明  
石 崎 悦 郎  
高 山 有 子  
行 田 充  
85 回 S 52 年  
石 田 富 美 子  
佐 藤 や よ い  
高 野 裕 久  
庭 野 芳 樹  
86 回 S 53 年  
岡 田 修 司  
中 山 均  
渡 辺 政 次  
87 回 S 54 年  
及 川 朋 子  
大 西 千 尋  
大 野 直 子

宮 田 佳 則  
88 回 S 55 年  
岸 亮 子  
小 竹 聡  
渋 谷 聡  
長 谷 川 健 司  
89 回 S 56 年  
長 谷 川 雄 一  
90 回 S 57 年  
池 元 太 郎  
白 須 洋 二  
田 辺 靖 貴  
91 回 S 58 年  
大 津 俊 哉  
梶 谷 敬 子  
101 回 H 5 年  
鈴 木 由 貴 子  
103 回 H 7 年  
鷲 尾 英 一 郎  
105 回 H 9 年  
渡 邊 千 絵  
114 回 H 18 年  
山 川 里 美  
通信制  
2 回 S 35 年  
青 柳 勲  
桜 井 修  
3 回 S 36 年  
高 木 春 夫  
6 回 S 39 年  
関 川 久 子  
8 回 S 41 年  
八 木 野 初 枝  
9 回 S 42 年  
田 村 清 三 郎  
10 回 S 43 年  
丸 山 キ ミ エ  
脇 川 久 春  
渡 辺 洋 子  
11 回 S 44 年  
川 上 敏 子  
12 回 S 45 年  
阿 部 勇 太 郎

13 回 S 46 年  
中 三 川 真 知 子  
八 木 清 宣  
16 回 S 49 年  
小 川 栄  
18 回 S 51 年  
小 林 和 昭  
20 回 S 53 年  
伊 花 義 一  
22 回 S 55 年  
山 口 安 治 郎  
28 回 S 61 年  
伊 藤 雅 子  
月 岡 ミ ッ 子  
渡 辺 久 子  
29 回 S 62 年  
佐 々 木 テ イ  
30 回 S 63 年  
大 箭 眞 壽 美  
31 回 H 1 年  
石 井 幸 代  
33 回 H 3 年  
津 端 キ ヨ  
渡 辺 作 司  
34 回 H 4 年  
大 橋 万 希 子  
斉 藤 幸 子  
田 中 博 子  
水 落 伊 一  
35 回 H 5 年  
福 田 知 恵 子  
37 回 H 7 年  
石 川 昇  
小 熊 陽 子  
棚 橋 ヨ シ ノ  
39 回 H 9 年  
石 井 武 俊  
小 林 優 喜 江  
40 回 H 10 年  
五十嵐 スズ エ  
丸 山 信 夫  
48 回 H 18 年  
笹 川 東 子

